

# 我が国の食料自給率の現状

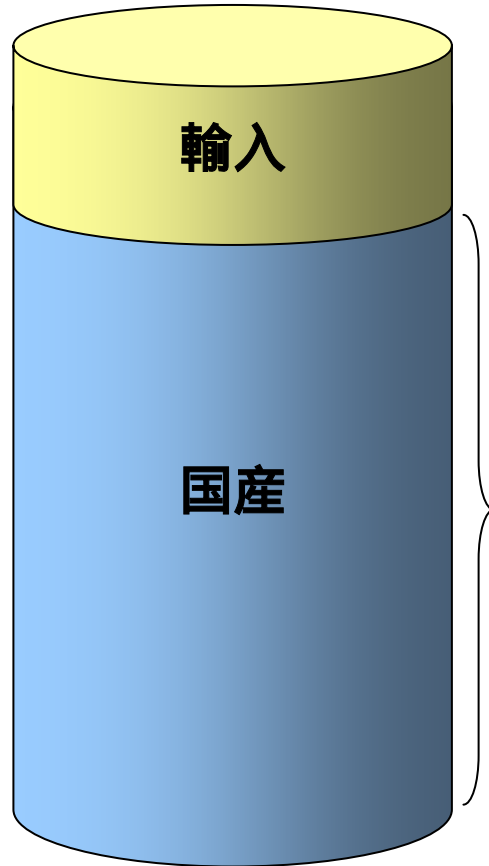


平成 2 1 年 1 0 月

九州農政局長崎農政事務所

# 食料自給率は戦後大きく低下し、現在は41%（カロリーベース）

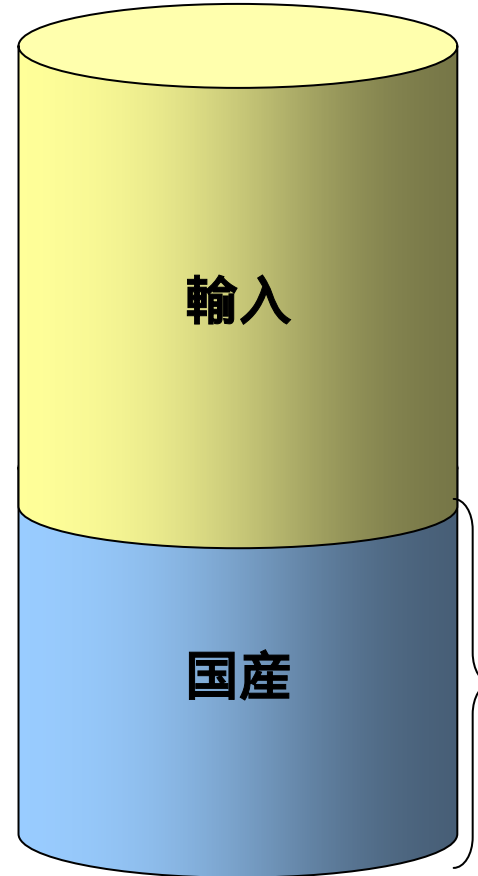
昭和40年度



1人1日当たり供給熱量  
2,459kcal

自給率  
73%

平成20年度

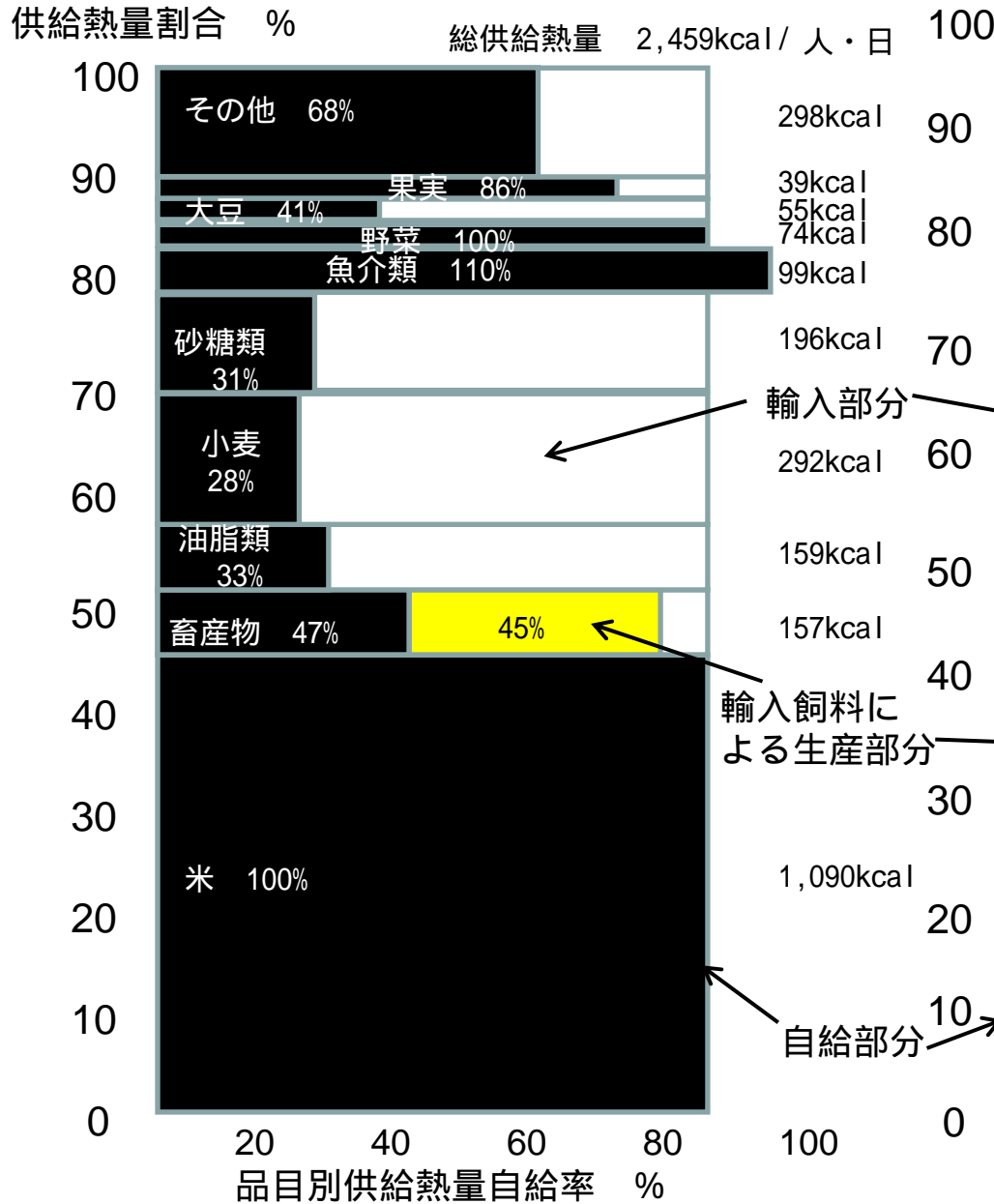


1人1日当たり供給熱量  
2,473kcal

自給率  
41%

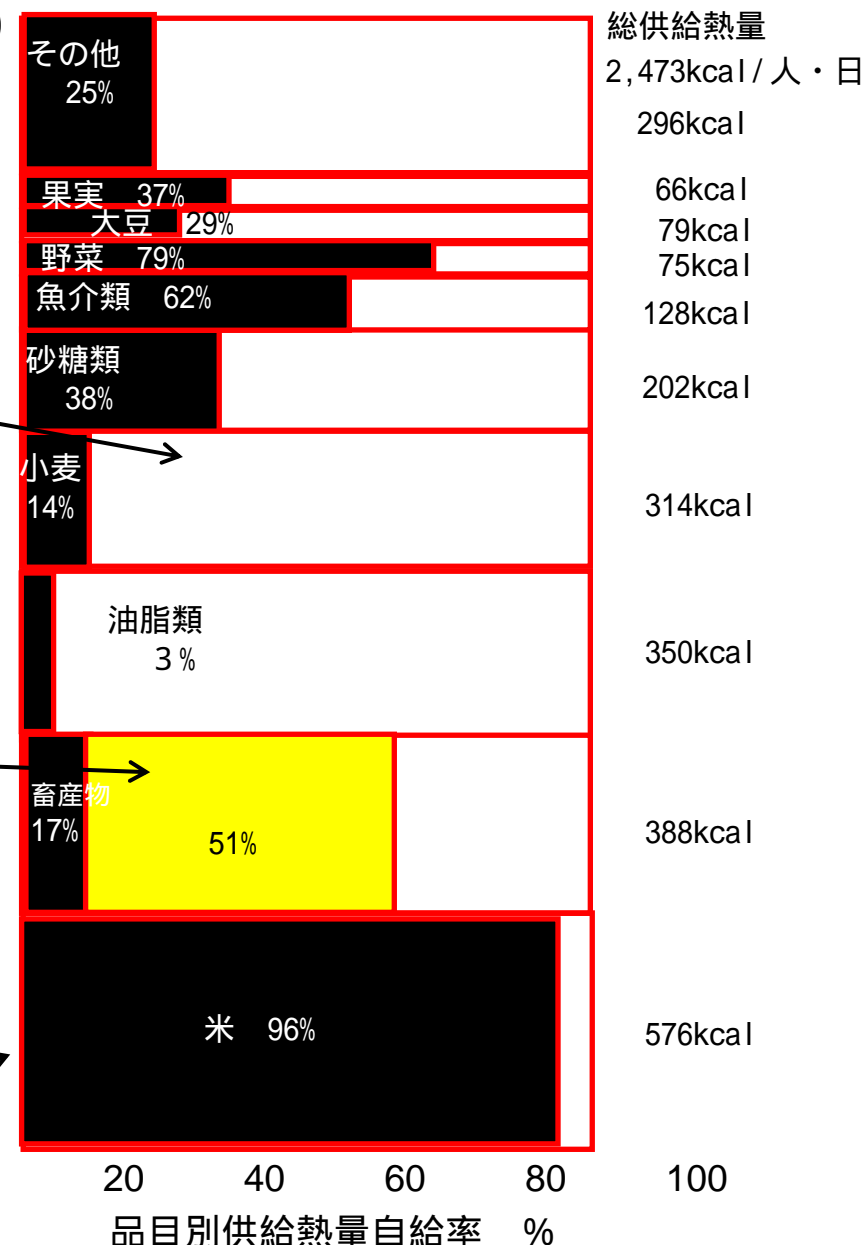
食料の未来を描く戦略会議資料（平成20年5月7日）及び農林水産省食料自給表から作成

# 食料消費構造の変化と食料自給率の変化 (農政改革関係閣僚会合配布資料21.7.15、及び21.8.11農水省公表食料自給率)



【昭和40年度】

供給熱量総合食料自給率73%



【平成20年度】

供給熱量総合食料自給率41%

輸入部分

輸入飼料による生産部分

自給部分



農産品別主要食品の自給率

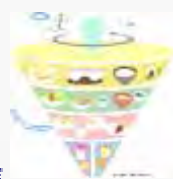
自給率(%)	品名	産地	自給率	備考
90	小麦(硬粒)	北海道	90.0	産地別自給率: 北海道100.0%
80~89	大豆	北海道	80.0	産地別自給率: 北海道100.0%
70~79	鶏卵	北海道	70.0	産地別自給率: 北海道100.0%
60~69	豚肉	北海道	60.0	産地別自給率: 北海道100.0%
50~59	牛肉	北海道	50.0	産地別自給率: 北海道100.0%
40~49	米	北海道	40.0	産地別自給率: 北海道100.0%
30~39	魚(雑)	北海道	30.0	産地別自給率: 北海道100.0%
20~29	野菜(雑)	北海道	20.0	産地別自給率: 北海道100.0%
10~19	果物(雑)	北海道	10.0	産地別自給率: 北海道100.0%
1~9	食料(雑)	北海道	1.0	産地別自給率: 北海道100.0%
0	食料(雑)	北海道	0.0	産地別自給率: 北海道100.0%

# 食料自給率向上に向けての取組み

## 食料消費面：日本型食生活の推進

### 1 地産地消の全国展開

- ・国内農産物の消費拡大
- ・地場農産物の販売、顔の見える関係づくり



### 2 食事バランスガイドを活用した食生活の推進

- ・米を中心に畜水産物、野菜などを組み合わせた日本型食生活の推進
- ・油脂の消費の減少

### 3 国内産農産物に対する消費者の信頼確保

- ・フードチェーンにおける各段階での安全性向上
- ・GAP、HACCPの導入
- ・食品表示の適正化など

## 農業生産面：農業資産の有効活用

### 1 担い手による需要に即した生産の促進

- ・担い手の育成確保
- ・新たな農業参入の促進
- ・経営全体に着目した所得政策

### 2 食品産業と農業の連携強化

- ・農商工連携した技術の活用による

- ・若者を対象とした農業法人でのOJT



新しい商品やサービスの創造、地域経済の活性化

### 3 効率的な農地利用の推進

- ・農地制度の基本を「所有」から「利用」に再構築
- 優良農地の確保、貸借の規制見直し、面的集積の促進、新規参入の促進
- ・耕作放棄地解消計画策定

# 食料自給率目標45%の達成